



自衛隊千葉地方協力本部

自衛隊千葉地方協力本部 ワンダーフェスティバル2023冬へ高機動車等展示



アンケートにご協力頂いている様子



ブルーインパルス操縦席からの風景をVR体験中の参加者



携しつづ部員一丸となって推進していく。

影会が実施され、自衛隊への親近感の醸成に一役買っていた。

千葉地方協力本部は、これからも各関係協力団体及び地域の皆様のご理解ご協力のもと、地域と一体となった募集広報活動を、関係部隊と連

携しつづ部員一丸となって推進していく。

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 1等海佐 高橋秀典）は2月12日（日）、幕張メッセで開催されたワンダーフェスティバル2023冬に参加した。

本イベントへは、第1空挺団の協力のもと高機動車及び1/2トトラックの展示並びに自衛隊千葉地方協力本部募集広報ブースを設置して、来場した約5万人のフィギュアファンに自衛隊広報を実施した。

当日は、体温測定、手指の消毒等新型コロナウイルス対策を継続して実施し、20名の隊力を傾注して参加した。

自衛隊千葉地方協力本部は、このフィギュアの祭典に全アナログ力を集結して、ライトアップした高機動車及び1/2トトラックの展示、広報用制服の試着、VR体験、アンケートを実施した。特にライトアップした高機動車及び1/2トトラックでの記念撮影に人気が集まり、広報用制服を試着した参加者や、アニメのキャラクターに扮した参加者が記念撮影を実施するなどイベント開催中來訪者が途切れることはなかった。

また、VR体験ではブルーインパルス操縦席からの臨場感あふれる映像と、地本勤務員によるトークでVRの世界を楽しんでいる様子であった。

さらに、本イベントコンテンツと親和性の高いアメリカンコミック調の千葉地本オリジナル募集広報ポスターを掲示し、記念撮影を実施してもらう等注目を集めていた。募集広報ブースの運営の他、千葉地方協力本部キャラクター（千葉3兄妹）がブース周辺を練り歩き、即席の記念撮影会が実施され、自衛隊への親近感の醸成に一役買っていた。

アニメのキャラクターに扮した参加者との記念撮影



千葉地本キャラクターと参加者との記念撮影



高機動車荷台で記念撮影を実施する参加者